

Fedora Core 6 Xen のインストール

[CentOS 初期設定] [仮想化]

- ・ Xen の公式パッケージあり
- ・ GUI 管理ツール (Virtual Machine Manager)
- ・ インストール時に、仮想化 [Virtualization] を選択すると、Xen 用のカーネルしかインストールされないの、通常のカーネルでインストールを行ってから、Xen のインストールを行う。

アプリケーション - ソフトウェアの追加 / 削除

「適用」後、リブートし、GRUB(ブートローダ) 画面で、xen 用のカーネルを選択して起動する。

xen 用カーネルで起動したか確認

```
# uname -r  
2.6.19-1.2895.fc6xen
```

xend および xenddomains が動いているか確認

システム - 管理 - Services

接続を開く

アプリケーション - システムツール - Virtual Machine Manager

ドメイン U の作成

インストール先の論理ボリュームが、マウントされていれば、アンマウントする

システム - 管理 - 論理ボリューム管理

ドメイン U の新規作成

結局、ウィザードを利用してのドメイン U の新規作成は失敗してしまい xenguest-install を使用して作成したのだが、一応手順をメモしておく

新しい仮想システムの作成

仮想化の方法を選択

準仮想化を選択 -OS のサポートが必要だが、パフォーマンスはよい

インストールメディアの検索

以下のようなダウンロードサイトを指定する。

<ftp://ftp.sfc.wide.ad.jp/pub/Linux/Fedora/6/i386/os>

<ftp://ftp.riken.jp/Linux/fedora/core/6/i386/os>

<http://ftp.iij.ad.jp/pub/linux/fedora/core/6/i386/os/>

接続状態等により、何度か失敗した

ストレージの割り当て

イメージファイルではなく、パーティションを指定した。

メモリと CPU の割り当て

ドメイン 0 との兼ね合いでメモリ量を設定する。

準備完了

作成中

エラー

メモリ量の設定に不整合があると、エラーが発生する。

実メモリから、ドメイン 0 で使用しているメモリ量を引いた値以下を指定すればよいような感じ。

インストール画面

なんとか、ここまでは、すすむのだが・・・この後、インストーラがクラッシュしてしまうことたびたび。。ウィザードによるインストールを断念。

xenguest-install によるドメイン U の作成

何度も失敗したので、手順は、覚えてしまった。

```
# xenguest-install
What is the name of your virtual machine? garuda
How much RAM should be allocated (in megabytes)? 210
What would you like to use as the disk (path)? /dev/mapper/VolGroup00-LogVol02
Would you like to enable graphics support? (yes or no) no
What is the install location? ftp://ftp.iij.ad.jp/pub/linux/fedora/core/6/i386/os

Starting install...
```

Oracle XE をインストールしたいので、スワップ領域を 1024MB に設定する。

インストール完了

手動で、ドメイン U を起動してやる

```
#xm create -c garuda
```

ブートローダ立ち上がる。うれしい。

作成したドメイン U の情報が表示される。

本来作成したドメイン U を選択し、「開く」を押下で、デスクトップが表示されるはずだが、表示されない。Would you like to enable graphics support? (yes or no) no としたためだろう。

設定ファイルの書き換え

/etc/xen に、ドメイン名と同名の設定ファイルがあるため、
vnc および vncunused 行を追加してみた。

```
# Automatically generated xen config file
name = "garuda"
memory = "210"
disk = [ 'phy:/dev/mapper/VoIGroup00-LogVol02,xvda,w', ]
vif = [ 'mac=00:16:3e:76:65:8d, bridge=xenbr0', ]
#nographic=1 <----- コメントアウト
vnc=1 <----- 追記
vncunused=1 <----- 追記
uuid = "6b40e461-ccf9-f5bf-a396-7a44f653b828"
bootloader="/usr/bin/pygrub"
vcpus=1
on_reboot = 'restart'
on_crash = 'restart'
```

めでたく起動できた
